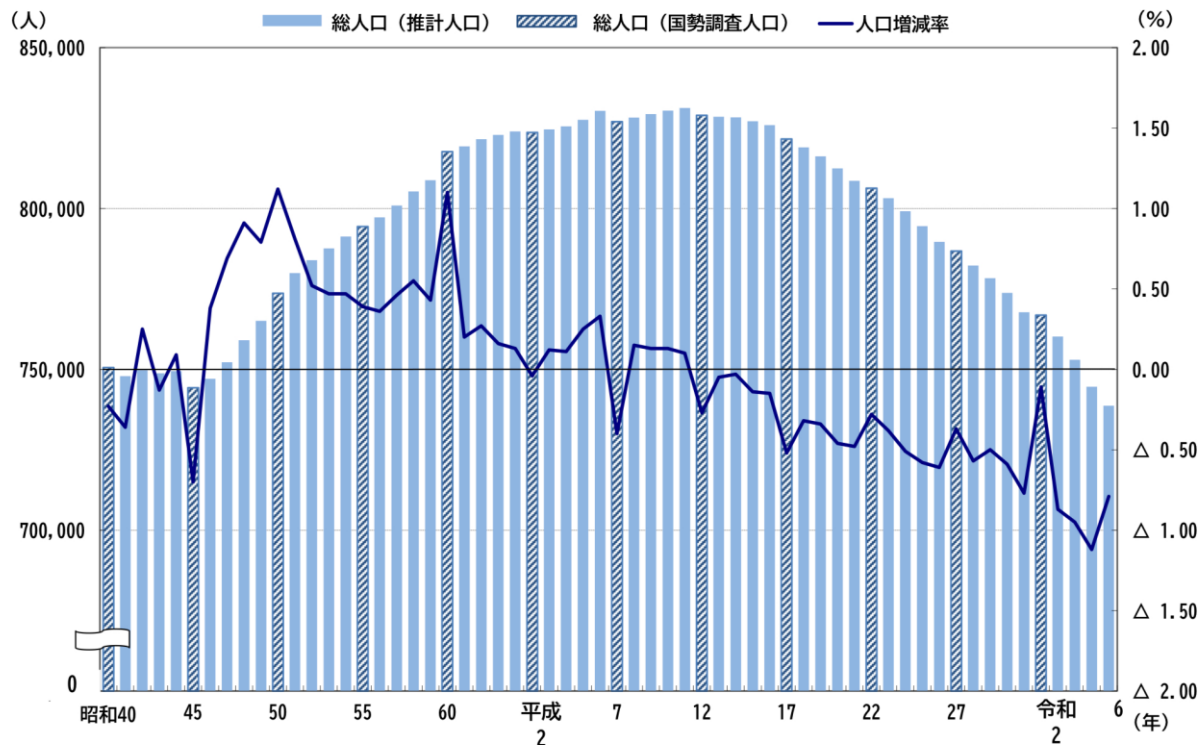


1、若者の県内定着

図1 総人口・人口増減率の推移（昭和40年～令和6年）



(注) 国勢調査年については国勢調査人口におきかえており、国勢調査人口が推計人口と乖離がある場合、人口増減率の変動が大きくなる。

福井県の推計人口 令和6年10月1日現在 より



1、若者の県内定着

中村綾菜 R7年2月一般質問補助資料②

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和6年）

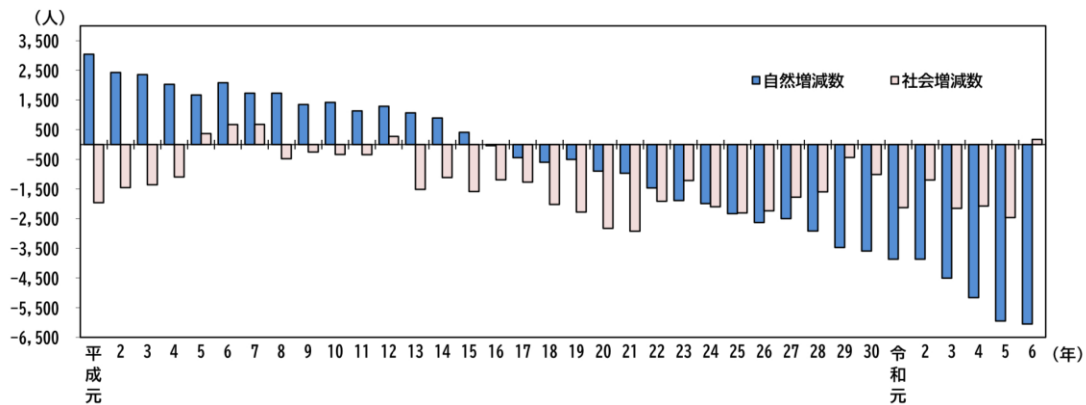
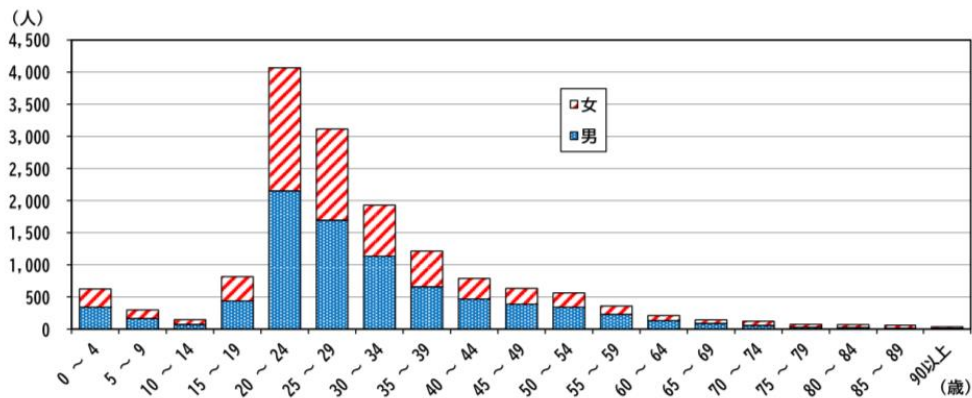


図7-2 5歳階級別県外転出者数



福井県の推計人口 令和6年10月1日現在 より



1、若者の県内定着



どんな制度？

福井県へのUターン就活を全力で応援！福井県までの交通費および宿泊費をサポートする支援制度です。

年度**4**回まで申請可能！

交通費最大**1.5**万円/回
※支援額の上限は都道府県別定額による

宿泊費※**7**千円/泊(年度最大3泊まで)
※宿泊費は福井県外出身者のみ対象

対象者

- 福井県内での就職を希望し、下記の条件に当てはまる方
- 福井県外の大学等に在籍する方(金学年)
- 福井県外在住で大学等※を卒業してから3年以内の方
- ※大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校等

対象就活

- 福井県内で開催する就職関連活動で下記の条件に当てはまるもの
- 県主催、後援等をする就職活動の関連イベント
- 県内企業が個別に県内で行う採用活動
- キャリアナビセンターでの就活講座、イベント、個別相談等

支援金支給までの手続きはどうするの？



お問合せ・必要書類郵送先はこちら

福井県定住交流課 (フスクエア・キャリアナビセンター)
福井県福井市手巻1-4-1 アオッサ7階 月曜・祝日・年末年始休
☎0776-97-6820
✉f-koutsuui@f-careernavi.com

事前申請前に学生証と通帳をお手元にご準備ください
交通費支援額(定額)は裏面へ



中村綾菜 R7年2月一般質問補助資料③

福井県外住所にある都道府県からの交通費支援額(定額)

- ※定額に満たない場合は、領収書・切符等により証明できる金額
- ※対象は鉄道、航空機、高速バス、旅客船、有料道路料金など
- ※同一年度内に一人4回まで



現住所地 (お住まいの県)	支援上限額	現住所地 (お住まいの県)	支援上限額
北海道	15,000 円	大分県	15,000 円
青森県		宮崎県	
岩手県		鹿児島県	
宮城県		沖縄県	
秋田県		埼玉県	14,000 円
山形県		鳥取県	
福島県		群馬県	13,000 円
茨城県		新潟県	
栃木県		香川県	12,000 円
千葉県		静岡県	
東京都		岡山県	
神奈川県	15,000 円	長野県	11,000 円
山梨県		和歌山県	10,000 円
山梨県		三重県	8,000 円
鳥取県		大阪府	7,000 円
広島県		兵庫県	
山口県		愛知県	6,000 円
徳島県		奈良県	
愛媛県		富山県	5,000 円
高知県		岐阜県	
福岡県		滋賀県	
佐賀県	3,000 円	京都府	3,000 円
長崎県		石川県	
熊本県			

詳細・申請はこちらから <https://f-careernavi.com/support/>

2 新しく整備される県営産業団地の戦略的活用と半導体産業の誘致について

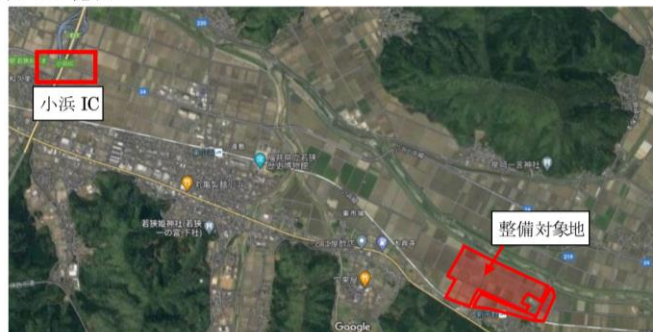
<福井市>

- 1 場所 福井市稲津町、荒木新保町地係（福井 IC から車で約 1 分）
- 2 規模 開発面積約 20ha（分譲面積約 16ha）
- 3 想定事業費 約 50 億円
- 4 位置図



<小浜市>

- 1 場所 小浜市平野地係（小浜 IC から車で約 10 分）
- 2 規模 開発面積約 30ha（分譲面積約 25ha）
- 3 想定事業費 約 46 億円
- 4 位置図



成長産業立地課より提供



2 新しく整備される県営産業団地の戦略的活用と半導体産業の誘致について

戦略Ⅳ 主要プロジェクト（２）イノベーションを創る企業誘致の拡大

○施策の考え方

県内企業と連携してイノベーションを創る拠点となる大規模な県営産業団地の整備を進めるとともに、県内の人手不足の状況を踏まえ、U・Iターン者の受け皿にもなるＩＴ企業や研究開発型企業、高付加価値企業など、量ではなく質を重視した企業誘致を進めていきます。

○現状と課題

これまで、国際的なブランドの高級ホテルや、世界初の全樹脂電池の量産工場など、付加価値が高く魅力的な企業の誘致を実現しました。

全国的に半導体関連産業などの国内回帰による地方への投資が増加する中、本県への企業進出も相次いで決定しており、産業団地の整備等により用地の確保を進めるとともに、より魅力的な企業の誘致に注力する必要があります。



企業立地・港セミナーによる知事のトップセールス



若者や女性が働きやすい魅力的な企業の誘致

○KPI

本社機能移転・拡充件数

15件（令和5～9年度累計）

○具体的な施策

①魅力ある企業の誘致

- ・付加価値の高い企業等への支援制度を活用し、世界に通用する高度人材が多く集まり、イノベーションを創造する魅力的な企業の誘致を進めます。
- ・給与水準が高い企業や働きやすい環境を整備する企業への上乗せ支援により、研究者やIT技術者などのU・Iターンの受け皿となる企業の誘致を進めます。
- ・地方移転に関心のある都市圏企業等の県内オフィス設置を支援し、若者や女性が働きやすい、小さくても魅力ある企業の誘致を進めます。
- ・国際的なブランドの高級ホテルやリゾートホテル、漁家民宿・農家民宿など、多様な宿泊施設の整備を推進します。＜再掲＞

②産業団地への高付加価値企業の集積

- ・高速交通網の結節点近くに大規模な県営産業団地を整備し、イノベーションを創造する高付加価値企業の集積を目指します。
- ・市町と協力し、市町営産業団地や新幹線駅・高速IC周辺への企業誘致を進めます。



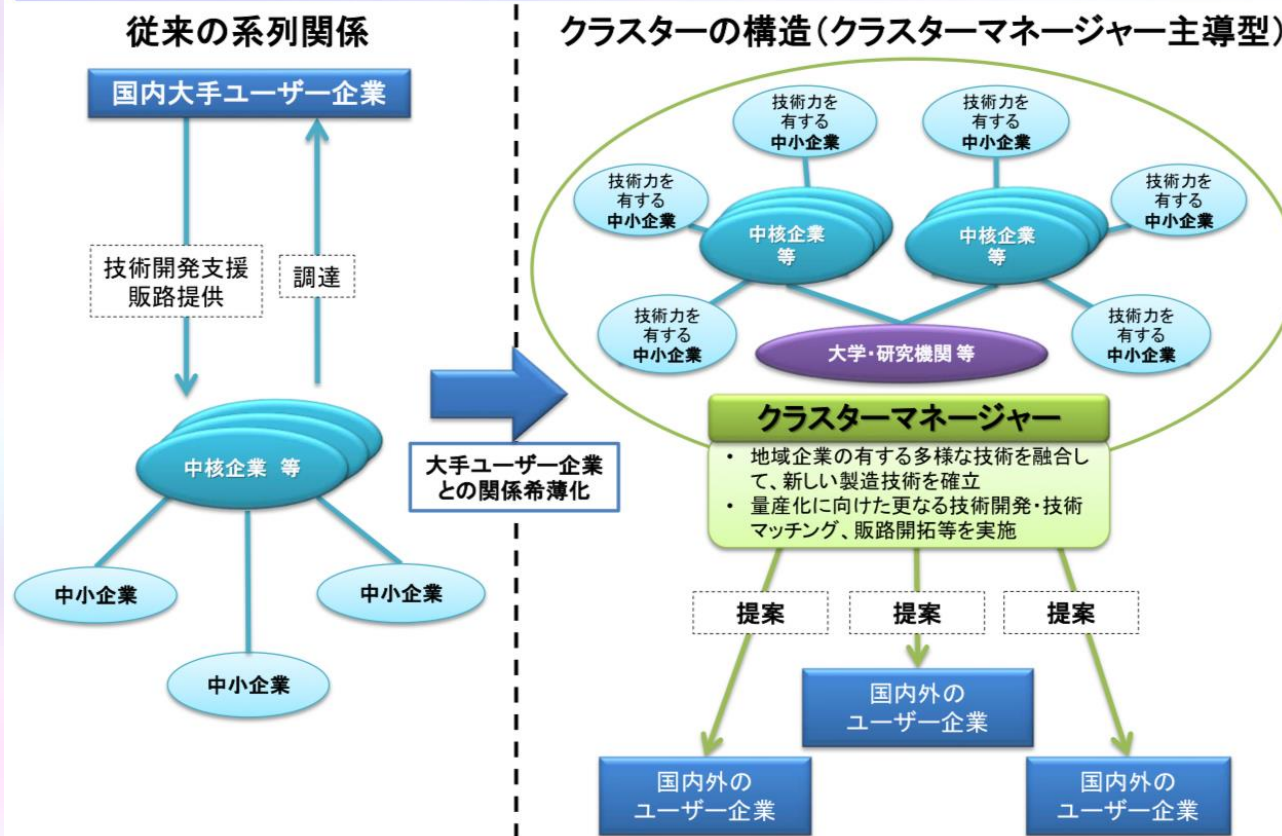
産業団地のイメージ

③誘致企業との連携によるイノベーション

- ・県内企業と誘致企業のビジネスマッチングを促し、企業間の連携による新たなビジネス創出に努めます。

2 新しく整備される県営産業団地の戦略的活用と半導体産業の誘致について

産業クラスター政策による地域産業活性化



3 ふくいの新鮮な魚をもっと県内・全国・世界へ！

(2) 最新の加工技術を活用した付加価値の向上

地魚の魅力発信と販売促進

<目指す姿>

生産者である漁業者や漁連・漁協と加工・流通・販売段階の各事業主体が連携して水産バリューチェーンを構築し、消費者ニーズに対応した売れる加工商品づくりにより付加価値の高い水産物を流通・販売

現状と課題

■ 本県の水産加工の状況

- ・本県における水産加工工場軒数は、平成25年 92工場に対して令和4年 64工場と減少傾向
- ・本県の加工生産量は、平成25年 約5,800トンに対して令和4年 約3,400トンにまで減少
- ・加工種類別の生産量でみると、カニなどの冷凍食品は、平成25年 約100トンであったのに対し、令和4年 約585トンと約6倍に伸長
- ・さらに、鯖へしこなどの塩蔵品も、平成25年 約465トンであったのに対し、令和4年 約780トンと約1.7倍に伸長



施策の方向性

1 生産から販売をつなぐ水産バリューチェーンの構築

- ・生産、加工、流通・販売が連携した商品開発

2 消費者ニーズに応じた加工技術の活用

- ・長期保存可能な低温技術の活用による安定供給
- ・「ふくい魚」を使ったお土産の商品化



3 ふくいの新鮮な魚をもっと県内・全国・世界へ！

26 / 39

最新の加工技術を活用した付加価値の向上 施策

3-(2)-1、2

1 生産から販売をつなぐ水産バリューチェーンの構築

<生産、加工、流通・販売が連携した商品開発>

- ・生産から販売までの事業者が連携して消費者のニーズ(品質・価格など)に応えるマーケットイン型の商品開発を展開
 - ・もみわかめ・塩蔵わかめ(ワカメ養殖×加工×販売)
 - ・小鯛ささ漬(レンコダイ養殖×加工×販売)
- ・アユの集荷体制の構築による流通・販売の強化(2-(1)-2掲載)

2 消費者ニーズに応じた加工技術の活用

<長期保存可能な低温技術の活用による安定供給>

- ・ブリやサワラ、シラなどが大量に漁獲された際に、高鮮度な状態で冷凍保存することにより魚価の下支えと加工原料として周年安定供給
 - ・刺身や寿司、海鮮丼、弁当商材の原料



大量に漁獲されたブリやシラを使った加工商品例

※水産バリューチェーン:生産から流通、加工、消費に至る各段階における情報や価値の伝達を双方向に行うことで、各段階における水産物の価値を上げていく考え方や連携

<「ふくい魚」を使ったお土産の商品化>

- ・地魚を使ったお菓子や弁当などのお土産づくりと販売促進
 - ・県漁連・漁協、民間企業、県立大学などと連携した健康機能性食品や高品質な商品の開発
- ・鯖へしこ、小鯛ささ漬など福井ならではの商品の販売促進



加工商品例

25



4 地域の文化芸術を全国、世界へ！そして未来へ！

2(2) 文化的・歴史的景観等

県内には、豊かな自然、奥深い歴史に培われた**有形・無形の文化財が数多く存在**

● **国宝** 6件

● **重要伝統的建造物群保存地区** 3地区

● **文化観光の拠点** 2か所

● **認定日本遺産** 5件

● **重要文化的景観** 3件

● **ふるさと百景(県選定)** 100か所



● **国宝**
明通寺
本堂、三重塔



● **重要文化的景観**
越前海岸の水仙畑



● **ふるさと百景**
農村の伝統美
漆喰の白壁民家群



● **日本遺産**
400年の歴史の扉を開ける旅
～石から読み解く中世・近世
のまちづくり 越前・福井～



● **文化観光の拠点**
大本山永平寺



● **文化観光の拠点**
一乗谷朝倉氏遺跡



● **日本遺産**
海と都をつなぐ
若狭の往来文化遺産群
～御食国若狭と鯖街道～



● **ふるさと百景**
天狗が踊る 王の舞



● **日本遺産**
海を越えた鉄道
～世界へつながる
鉄路のキセキ～



● **重要伝統的建造物群
保存地区**
南越前町今庄宿



4 地域の文化芸術を全国、世界へ！そして未来へ！

5(3) 無形民俗文化財保護団体へのアンケートの結果

令和3年度 無形民俗文化財に関するアンケート調査

実施時期: 令和3年8月

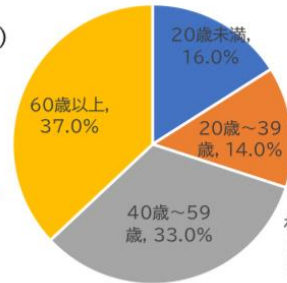
目的: コロナ禍で活動が難しい中、現状把握のため

対象数: 56団体(県無形民俗文化財保護協議会の会員団体)

回答数: 42団体

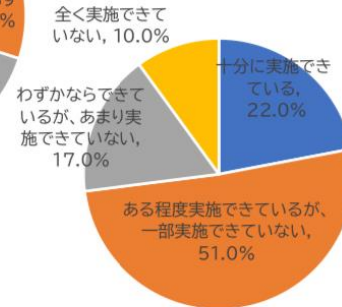
1 会員の年齢層

会員の年齢層は、**40歳以上が全体の約7割を占めている。**



2 近年の活動状況

ここ数年の活動状況は、**活動できている団体が約7割を占めている。**



3 活動できていない理由

活動できていない理由として、**「保存会員の高齢化が進んでいるため」「後継者不足に悩んでいるため」が約3割と最も多い。**

